

わかば

もっとしりたい、もっとやってみたい

〈ねらい〉

今や ICT は日常的に使われており、児童はパソコンやタブレットなどを家庭で使っています。そこで、ICT を授業でも活用することで、児童の興味・関心を引き出し、「もっと知りたい、もっとやってみたい」という意識を高めることができると考えました。本学級に在籍する、学年・発達段階ともに異なる児童の誰もが「もっと知りたい、もっとやってみたい」という気持ちになれる授業づくりを目指して、動画や写真などの視覚的な情報を多く取り入れて、授業を行いました。

〈活動の様子〉

図画工作科の学習で、自分に似合う洋服のデザインを考える活動を行いました。最初に、様々な洋服のデザインを知るために、タブレットを使って、たくさんの洋服の画像や身近な先生や友達の洋服の写真を見ました。

「英語の服だ!」「かっこいい色だね!」「カラフルだね!」などと、洋服のデザインに興味をもった様子でした。その後、自分に似合う洋服のデザインをパスや色鉛筆を使って画用紙に描きました。それぞれがテーマをもって、洋服を自由にデザインすることができました。最後に遠近法を利用して、デザインした洋服と自分を友達と協力してタブレットで撮影し、撮った写真を鑑賞しました。友達のよい所を認め合いながら、楽しく鑑賞することができました。

一人1台のタブレットを使った学習では、画像を自分の間近で見ることができると、授業の内容をより理解しやすくなり、興味をさらに高めることができたと感じました。今後も、子どもたちの「もっと知りたい、もっとやってみたい」という気持ちを高められるように、タブレットを効果的に活用しながら支援をしていきたいと思います。



【2組で洋服のデザインを見る様子】



【1組でタブレットで撮影する様子】